

小笠原航空路開設推進特別委員会速記録

平成29年6月8日（木曜日）午後2時開会

出席委員（6名）

委員長	一木重夫君	副委員長	清水良一君
委員	稲垣勇君	委員	杉田一男君
委員	鯉江満君	委員	安藤重行君

委員外出席議員（1名）

議長	池田望君
----	------

出席説明員

村長	森下一男君	副村長	渋谷正昭君
教育長	松本隆君	総務課長	セーボレー孝君
総務課副参事	杉本重治君	総務課企画政策室長	樋口博君
財政課長	江尻康弘君	村民課長	村井達人君
医療課長	佐々木英樹君	産業観光課長	牛島康博君
環境課長	深谷雪雄君	建設水道課長	繁藝則仁君
建設水道課副参事	岩本弘幸君	母島支所長	湯村義夫君
教育課長	持田憲一君		

事務局職員出席者

事務局長	大津源君
------	------

議事日程

- 日程第1 小笠原航空路開設に関する経過報告及び今後の対応について
- 日程第2 その他
- 日程第3 閉会中の継続調査について

◎開会の宣告

○委員長（一木重夫君） ただいまから小笠原航空路開設推進特別委員会を開会します。

出席委員が定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

（午後2時）

◎会議時間の延長

○委員長（一木重夫君） あらかじめ会議時間の延長をしておきます。

◎説明員の出欠について

○委員長（一木重夫君） 次に、説明員の出欠について事務局長に報告させます。

○事務局長（大津 源君） ご報告いたします。

本日の委員会の説明員は、全員が出席との通知がありました。

以上でございます。

◎小笠原航空路開設に関する経過報告及び今後の対応について

○委員長（一木重夫君） それでは、本日の議題に入ります。

日程第1、3月定例会以降の小笠原航空路開設に関する経過報告及び今後の対応について、執行部から報告を求めます。

総務課企画政策室長、樋口君。

○総務課企画政策室長（樋口 博君） それでは、3月定例会以降の航空路に関する動きについて、ご報告をさせていただきます。

まず1点目、陳情活動その他でございますが、村長の陳情活動などとしまして、3月27日、国土交通省山本特別地域振興官と、航空路に関する意見交換をさせていただいております。

4月6日、金子恭之衆議院議員を訪問いたしまして、航空路に関する陳情、また5月25日、東京都総務局の西村行政部長、また山口多摩島しょ振興担当部長と、航空路に関する意見交換及び陳情をさせていただいたところでございます。

2点目のご報告ですが、東京都に関することとしまして、都議会におきまして、平成29年第1回定例会の総務委員会におきまして早坂義弘議員から、自民党の先生でございますが、早坂議員から小笠原の航空路開設に向けての現在の検討状況を伺うというご質問がされて

おります。

担当部長の答弁の趣旨としまして、航空路開設には、航空法・自然公園法等の規制のほか、財政面など多くの課題があると。現在、課題を深く掘り下げ検討を行っている。また、検討案の一つである父島・洲崎地区での航空路開設案について、国から助言を得ながら、飛行の安全性を確保した場合の自然改変の程度、就航可能な機材、需要予測、運航採算性など詳細に分析・検討を行っている。また、今後も引き続き、一層緊密に関係機関との折衝等を行い、自然環境と調和した実現可能な航空路案について精力的に検討を進めるという趣旨の答弁がなされております。

3点目のご報告でございます。航空業界に関することとしまして、さきの委員会でもご報告いたしましたが、ATR機の国内導入の動向についてでございます。天草エアラインに引き続きまして、離島路線を抱える国内運航会社のうち、日本エアコミューターでATRがこの4月から導入されているところでございます。

具体的などころで言いますと、4月26日から鹿児島・屋久島路線、また鹿児島・沖永良部島路線、ここに導入され、平成29年5月28日から鹿児島・奄美大島路線にも導入されると。まだ、日本エアコミューターに納入されているATR機は1機しかまだございません。1機で今対象路線を広げているという状況だそうでございます。9月には2機目の納入があるというふうに聞いているところでございます。

報告は以上でございます。

○委員長（一木重夫君） ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

稲垣 勇委員。

○委員（稲垣 勇君） 国の陳情と東京都の報告があったわけですが、村として今年度どのような動きをされるのか、お聞きしたいと思います。

○委員長（一木重夫君） 総務課企画政策室長、樋口君。

○総務課企画政策室長（樋口 博君） 村の動きというのは、陳情等ということでよろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○総務課企画政策室長（樋口 博君） 基本的には、今、実務担当者で東京都と村、東京都においては総務局、港湾局、それから次の会議からは恐らく環境局も入って検討を続けている状態です。それを踏まえつつ、国土交通省の航空局から指導を受けながら検討を進めて

いと。来年、平成30年の返還50周年の際には、東京都の一定の方向性をとすることは共有されておりますので、それに向けて検討を進めているんですが、進める中で積み上がってきた内容のもの状態を踏まえながら、村の陳情活動、そういったものをこれから考えていくというような状況だと認識しているところでございます。

○委員長（一木重夫君） 稲垣 勇委員。

○委員（稲垣 勇君） 議会でも、この委員会でもずっと50周年、半世紀を迎えるに当たって何らかのいい回答を島民に報告したいということで言ってきたわけですが、そのような報告ができる状態にあるのでしょうか。

○委員長（一木重夫君） 総務課企画政策室長、樋口君。

○総務課企画政策室長（樋口 博君） まだ確定的な状況ではないので、具体的なお報告はできませんが、実務方のスタンスとしましても、まず東京都が検討されている3つの案、そのうち2つについては、恐らく中長期的な、なかなか実現可能などと言いつらい案だと認識しております。

具体的な検討としましては、洲崎を前提とした具体的な、可能な検討案について協議を進めているという状況でございますので、今の段階で来年どういう報告がなされるかはあれですが、実現可能などということを踏まえて協議しておりますので、そういう延長線上での東京都の一定の方向性が出るべく、村も協力しながら検討を進めているという状況でございます。

○委員長（一木重夫君） ほかにございせんか。

（挙手する者なし）

○委員長（一木重夫君） 質疑がもうないようですので、委員長のほうから1つ、村長に質問があります。

今、事務方同士での話し合いが行われているという部分ありますけれども、村長の政治的な動き、全体的なお話で構いませんので、お願いします。

村長、森下君。

○村長（森下一男君） ただいまの報告の中で、私の陳情活動の報告がございましたが、今回は政治向きなことでは金子先生とだけお会いをし、国土交通省の振興官、それから直近では総務局の西村行政部長と山口担当部長とお会いをしました。

この中身の話は、個々そう申し上げられないこともあるんですが、都議会で早坂先生が質問したものに東京都の答弁がございまして。基本的には、これから一定の方向性の中で、今

うちの担当副参事も報告をしておりましたが、相当詰めたものを協議しておりまして、基本的にはこの答弁のとおりでございます。特に3番目、今後も引き続き一層緊密に関係機関との折衝等を行い、自然環境と調和した実現可能な航空路案について精力的に検討を進めるといふことで、今言っている実務方は国土交通省の航空局にも入っていただきまして、それぞれの立場でのいろいろなアドバイスをいただいていると。

返還50周年に一定の方向性を出すためには、前からもお話をさせていただいていますが、その前に航空路協議会がやはり1回だけではなくて、詰めも入れると何回かということになろうかと思うんですが、その辺のタイムスケジュール等をざっくばらんに行政部長と担当部長とお話をさせていただいてきました。

まだ何日というふうにご報告はできないんですが、恐らく7月中に一度、直近では航空路協議会の開催をする、今、日程調整を進めていただいていると、そういうふうにおります。これは、ちょっと議会のほう閉会はしてしましますが、議長も委員でございますので、日程が決まりましたら、議会のほうにも事務局を通してご報告をしたいと、このように思っているところでございます。

○委員長（一木重夫君） 稲垣 勇委員。

○委員（稲垣 勇君） そうしますと、9月の定例会にはある程度のP I協議会の、7月にやればその報告が出るだろうと思うんですけども、なかった場合にはそのP I協議会、今まで1回もずっと開かれていない協議会が開かれる日程が確定するという事によろしいですか。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） 返還50周年で東京都が一定の方向性を出すためには、きちんと航空路協議会というのはやっていかなければならないこととございますので、そのようなことになろうかと思えます。

○委員長（一木重夫君） 杉田一男委員。

○委員（杉田一男君） 今、村長の答弁を聞いていて、ちょっと単純な質問をしたいと思うんですけども。

今まで5年も6年も開かれなかったP I、要するに航空路協議会ですね。今年度見通しが立ってきたと。東京都の考え方に何かしら進展があったということでもいいですか。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） 端的に言いますと、お示しするものですね。航空路協議会で俎上に上

げて議論していただくものが出せるということになるかと思います。基本的には、先ほどの都議会議員の先生に対する答弁のところが考え方の骨子であるというふうに考えております。

○委員長（一木重夫君） 杉田一男委員。

○委員（杉田一男君） そうすると、今までP I 開かれていましたけれども、就任・退任のそういう報告が主であって、今度のこの協議会自体は今までと違って、やはり前向きに、50周年も見据えた部分もあるんでしょうけれども、前向きに進展すると、そういう受けとめ方でいいということですね。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） 大変言葉の使い方がある意味難しいんですけども、時期によってはそういうことがあるかもしれませんが要するに役員の交代とか、それだけではなくて、端的に言いますと、うちの担当が説明したように、残っている3つをきちんと、例えば候補地も絞り込むですとか、そういうような、やはり返還50周年で一定の方向性を出すための道筋に沿った形のことで、航空路協議会ですよ、まず。これで固めたものがP I を受けるようになりますので、航空路協議会が開催されると。

ですから、それはやはり着々とした歩みを、少なくとも東京都も踏んでいってくださるというふうに私は理解をしております。

○委員長（一木重夫君） 稲垣 勇委員。

○委員（稲垣 勇君） やっどここまで来たわけですけども、ただ来年の50周年に向けて、今ある3案が1個になるだけの報告ということはありませんよね。

○委員長（一木重夫君） 村長、森下君。

○村長（森下一男君） まず、やはり候補地もそうですが、都議会の先生に東京都のほうの答弁にありますように、自然環境と調和した実現可能な航空路案について精力的にということを検討しているということを答弁しています。まさにここだと思ひまして、それがどこまで返還50周年のときに、恐らくいろいろなことを調査・検討しているはずですので、機材やそういうこと、今までの状況から考えても、近い将来なのか、中期的な見通しのものであるにしても、一つの方向性、一定の方向性を出していただけると、このように思っております。

○委員長（一木重夫君） 期待したいと思います。

その他ございませんか。

(挙手する者なし)

○委員長（一木重夫君） 質疑がもうないので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

◎その他

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第2、その他事項で何かございますか、航空路に関して。

(発言する者なし)

○委員長（一木重夫君） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

◎閉会中の継続調査について

○委員長（一木重夫君） 次に、日程第3、本委員会の閉会中の継続調査についてお諮りします。

お手元に配付の事件調査のために閉会中の継続調査の申し出をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

よって、閉会中の継続調査を申し出ることに決定しました。

◎閉会の宣告

○委員長（一木重夫君） お諮りします。

本日の議題は終了しましたので、これをもって本委員会を終了したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長（一木重夫君） 異議なしと認めます。

よって、本日の委員会を閉じます。

これもちまして、小笠原航空路開設推進特別委員会を閉会します。

(午後 2 時 1 7 分)